

会津若松地方広域市町村圏整備組合

令和 6 年度 ゴミ減量実施計画の進捗状況

令和 7 年 7 月

ごみ減量実施計画の進捗状況について

1 ごみ減量実施計画の概要について

(1) 目的

環境負荷の低減に向けた資源循環型社会の構築を目指し、構成市町村の住民、事業者、行政がおこなうべき具体的なごみ減量の取組、数値目標を設定し、ごみ減量とリサイクルを推進することを目的として令和2年3月に策定したものです。

(2) 主なごみ減量の取組

目標を達成するためには、効率的かつ効果的なごみ減量の施策を推進することが必要であり、ごみの排出状況と課題を踏まえながら取組んで行くものです。

- ① 紙ごみのリサイクル 《重点施策》
- ② 生ごみの減量 《重点施策》
- ③ ごみの分別、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

(3) 計画期間 令和2年度から令和7年度まで

(4) ごみ排出量の目標値及び各市町村の施策

① 表-1 数値目標値

項 目	基準年 (平成30年度)	目標年度 (令和7年度)	削減量	削減率 (%)
総排出量(t)	74,179	58,328	△15,851	△21.4
1人1日当たりの排出量(g)	1,094	938	△156	△14.3
燃やせるごみの排出量(t)	61,123	44,909	△16,214	△26.5
燃やせるごみの1人1日当たりの排出量(g)	902	722	△180	△20.0
リサイクル率(%)	13.9	21.3	7.4	—

※参考 1人1日当たりの排出量 全国平均 918g（平成30年度 一般廃棄物処理実態調査）

リサイクル率 全国平均 19.6%（平成30年度 一般廃棄物処理実態調査）

② 各市町村の主な施策

- ・広報誌、住民説明会等による分別・リサイクルの周知・啓発活動の強化
- ・小型家電、古着等の集団回収、イベント回収の推進
- ・子ども服等の古着類のリユースの推進
- ・事業者への分別・リサイクル徹底の指導
- ・福島県の食品ロス推進事業の周知
- ・家庭ごみの有料化の検討

(5) 進行管理

ごみ減量の取組状況や目標値の達成状況などを定期的にチェック・評価し、施策の改善を行い、Plan(計画)、Do(施策の実行)、Check(点検)、Act(見直し)のPDCAサイクルの手法により実施するものです。

2 令和6年度 ごみ減量実施計画の進捗状況について

(1) 減量化の進捗状況 P 4 ~ 6

① 総排出量、燃やせるごみの排出量

ごみ全体の排出量は計画策定以降確実に減少してきており、特に令和6年度は、前年度に引き続き家庭系ごみの減少が大きな要因となり、総排出量の減少が顕著となった。

一方、事業系ごみについては減少傾向が鈍化しており、観光需要の回復に伴う増加分と減量取組み分が相殺されていることが考えられる。

また、集団回収の実績も減少傾向にあり、市町村ごとに増減があるもののコロナ禍や少子化に起因する取組みの縮小や実施方法の変更等が要因と考えられる。

燃やせるごみについては、より具体的で実効性のある市町村個別の「アクションプログラム」に基づく減量を進め、1人1日当たりの排出量及び全体の排出量についても減少している状況にあるが、減量目標の達成は困難な見通しである。そのため、計画期間終了後2年間を限度として「災害廃棄物処理枠」を使用した処理を行いながら、引き続き着実な減量を推進しなければならない状況にある。

② リサイクル率

計画策定以降、増減を繰り返しているが、計画目標には達していない。令和6年度は前年度と同じリサイクル率となり、結果的に平成30年度実績と同程度のリサイクル率となっていることから、更なる取組みの強化が必要と考えられる。

※各市町村の減量化の実施の進捗状況及び排出実績 P 8 ~ 13

(2) ごみ質検査結果 P 6 ~ 7

ごみ質の検査結果は、ごみ減量の方策に有効活用することとしている。

検査結果は「乾ベース」で出されるが、より排出時の実態に近い数値を把握することで減量・リサイクルの重点項目を明確化できるため、令和5年度実績から一定の算定方式を用いて組合独自に「湿ベース」の数値も示すこととした。

湿ベースによる検査結果においては、再生可能な資源物の混入割合が、紙・布類で13.5%、ビニール類（プラスチック類）で14.1%、合計で約27.6%となったほか、厨芥類（生ごみ）が51.6%含まれている結果となった。

3 燃やせるごみ減量に係るアクションプログラムについて

市町村におけるアクションプログラムの主な内容

- ① 住民への減量・リサイクル啓発
- ② 紙・プラの分別・資源化の強化
- ③ 消滅型生ごみ処理容器「キエーロ」、コンポストの普及拡大
- ④ 「3きり」の周知徹底
- ⑤ 減量・分別に関するガイドブック配布
- ⑥ 古着回収、イベント回収、集団回収の推進
- ⑦ 剪定枝・草の自家処理推進

- ⑧ 事業者への啓発
- ⑨ 環境センターと連携した搬入検査・指導
- ⑩ 官公庁のごみ減量推進
- ⑪ ごみ処理有料化の導入、未導入自治体における有料化の検討

※各市町村別の詳細 別紙資料 2

4 今後の方向性について

(1) 燃やせるごみの減量目標達成に向けた取組

- ① アクションプログラムに基づく着実な減量施策の推進
(市町村の実情に沿った着実な取り組みが必要)
- ② 「紙ごみのリサイクル」・「生ごみの減量」・「プラ製容器包装のリサイクル」の推進
(ごみ質検査の結果から、特に「紙ごみ」と「生ごみ」には減量の余地が十分にあると考えられることから、さらなる重点的な取り組みが必要)
- ③ 事業系ごみの減量推進
(排出事業者・収集事業者の双方への減量啓発)

《重点事項》

区 分	住 民	事業者	行 政
①紙ごみのリサイクル	雑がみ・段ボール・新聞・雑誌の <u>分別徹底とリサイクル</u>	事務文書や紙類の <u>リサイクル</u> 、ペーパーレス化、過剰包装の抑制	雑がみの分別・紙ごみのリサイクルに対する周知・啓発活動
②生ごみの減量	<u>キエーロの活用</u> 、 <u>生ごみの水切りの徹底</u> 、コンポスト容器等の活用、食品ロスの削減	3010運動 [※] 呼びかけ、売れ残り食品の適正なリサイクル、生ごみの堆肥化	<u>キエーロの普及啓発</u> 、コンポスト等の導入助成の拡大、福島県の実食ロス推進事業の周知
③ごみの分別、3Rの推進	紙類・ <u>プラスチック製容器包装の分別</u> 、集団回収への参加	リサイクル業者の活用、商店街・工業団地等の資源物の共同回収	リサイクルに係る新しい分別品目の検討、分別徹底に関する周知・啓発

※宴会時の最初 30 分と最後の 10 分は料理を楽しみ、美味しく食べきる。

(2) 令和 7 年度 環境センターの施策

- ① 広報誌、組合ホームページでの減量化等啓発継続
- ② 施設見学での減量化等啓発継続
- ③ 事業系ごみの展開検査、事業者向けごみ減量化チラシによる啓発
- ④ 市町村と連携した減量施策の推進・進行管理

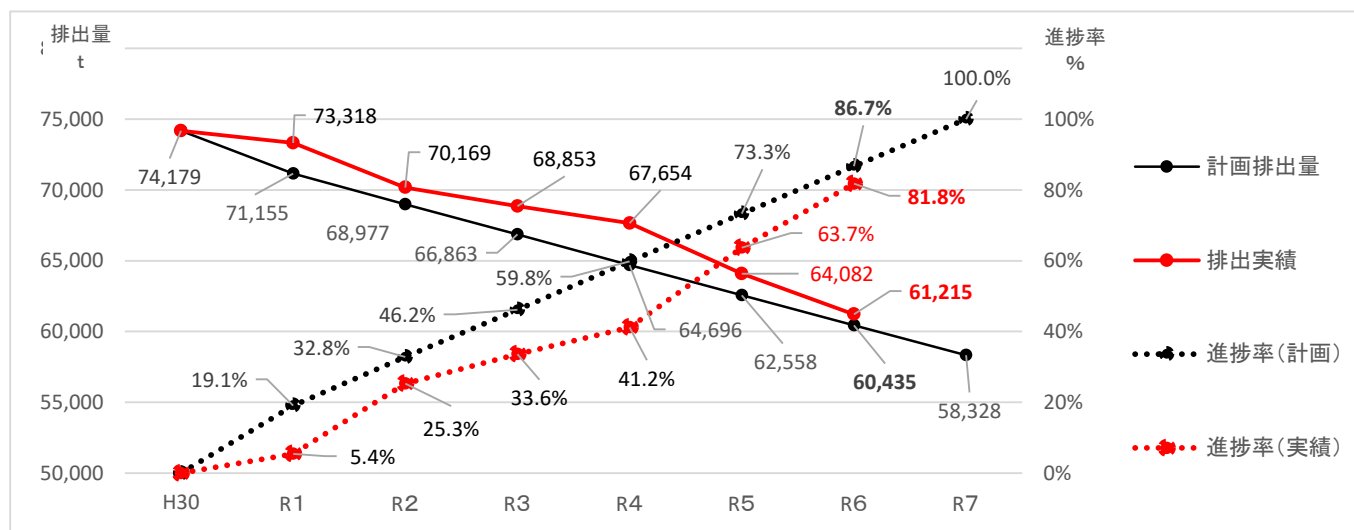
【減量化の進捗状況】

① 総排出量

単位：t

項目	年度	H30 (基準年)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標年)
計画排出量		74,179	71,155	68,977	66,863	64,696	62,558	60,435	58,328
内訳	家庭系	50,248	48,721	47,412	46,155	44,843	43,561	42,288	41,032
	事業系	21,456	19,455	18,591	17,735	16,882	16,028	15,179	14,331
	集団回収	2,475	2,979	2,974	2,973	2,971	2,969	2,968	2,965
削減目標 ^{※1}			△ 3,024	△ 5,202	△ 7,316	△ 9,483	△ 11,621	△ 13,744	△ 15,851
進捗率(%) ^{※2}			19.1%	32.8%	46.2%	59.8%	73.3%	86.7%	100.0%
実績		74,179	73,318	70,169	68,853	67,654	64,082	61,215	
内訳	家庭系	50,248	50,030	48,949	48,387	47,142	43,913	41,931	
	事業系	21,456	21,293	18,894	18,630	18,862	18,589	17,945	
	集団回収	2,475	1,995	2,326	1,836	1,650	1,580	1,339	
削減実績 ^{※1}			△ 861	△ 4,010	△ 5,326	△ 6,525	△ 10,097	△ 12,964	
進捗率(%) ^{※2}			5.4%	25.3%	33.6%	41.2%	63.7%	81.8%	
取組の結果	実施計画では削減目標を△13,744tとしていたが、削減実績は△12,964tとなった。進捗率は実績が81.8%となり、目標の86.7%まであと4.9%となった。 前年度と比較し家庭系(△1,982t)事業系(△644t)となった。家庭系については減量の取組がより一層強化進んだことにより減少したものと考えられる。事業系については令和2年度以降の減少が緩やかになっているが、コロナ禍後の観光需要回復など、事業活動が活発化している状況での実績であり、一定程度事業系ごみ減量の効果は出ているものと考えられる。 集団回収については市町村ごとに増減が見られるが、全体としての回収量は減少した。								

【グラフ-1 総排出量及び削減量】



② 1人1日当たりの排出量

単位：g

項目	年度	H30 (基準年)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標年)
計画排出量		1,094	1,064	1,044	1,025	1,004	982	960	938
削減目標 ^{※1}			△ 30	△ 50	△ 69	△ 90	△ 112	△ 134	△ 156
進捗率(%) ^{※2}			19.2%	32.1%	44.2%	57.7%	71.8%	85.9%	100.0%
実績		1,094	1,091	1,067	1,070	1,067	1,029	1,001	
削減実績 ^{※1}			△ 3	△ 27	△ 24	△ 27	△ 65	△ 93	
進捗率(%) ^{※2}			1.9%	17.3%	15.4%	17.3%	41.7%	59.6%	
取組の結果	実施計画では削減目標を△134gとしていたが、削減実績は△93gであった。進捗率は実績が59.6%で、目標とする85.9%には26.3%届いていない。								

※1 削減量；平成30年度（基準年）と計画及び実績の差

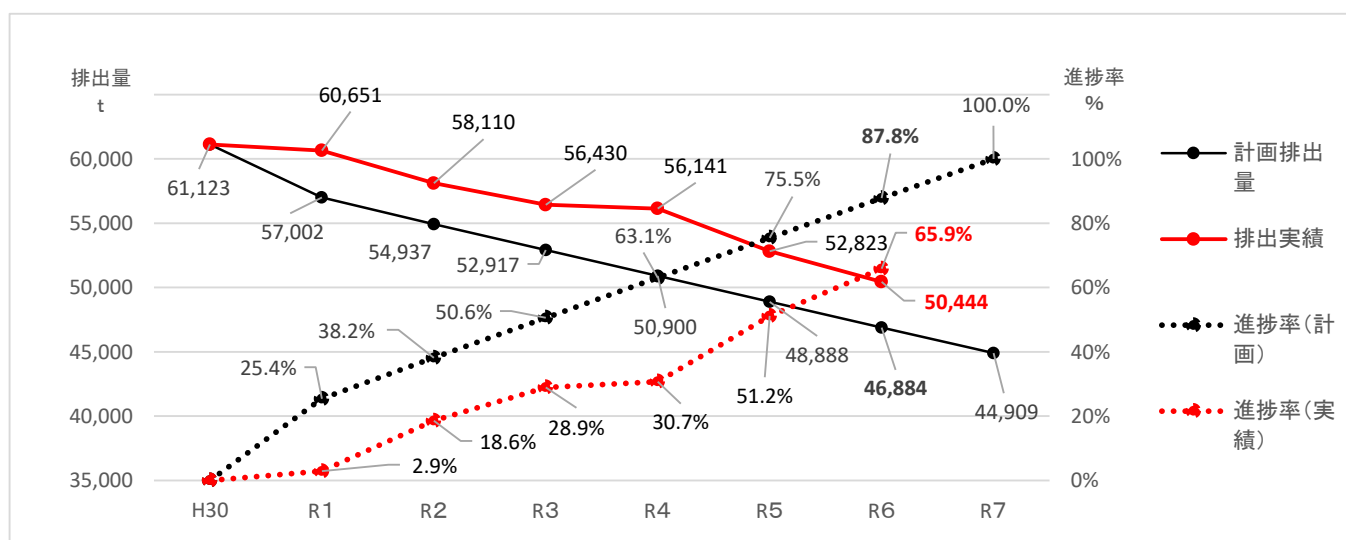
※2 進捗率；令和7年度の計画削減量を「100」とした場合の当該年度削減の計画及び実績の割合

③ 燃やせるごみの排出量

単位：t

項目	年度	H30 (基準年)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標年)
計画排出量		61,123	57,002	54,937	52,917	50,900	48,888	46,884	44,909
内訳	家庭系	40,084	37,964	36,759	35,591	34,424	33,262	32,103	30,973
	事業系	21,039	19,038	18,178	17,326	16,476	15,626	14,781	13,936
削減目標 ^{※1}			△ 4,121	△ 6,186	△ 8,206	△ 10,223	△ 12,235	△ 14,239	△ 16,214
進捗率(%) ^{※2}			25.4%	38.2%	50.6%	63.1%	75.5%	87.8%	100.0%
実績		61,123	60,651	58,110	56,430	56,141	52,823	50,444	
内訳	家庭系	40,084	39,920	39,462	38,011	37,491	34,702	32,967	
	事業系	21,039	20,731	18,468	18,419	18,650	18,121	17,477	
削減実績 ^{※1}			△ 472	△ 3,013	△ 4,693	△ 4,982	△ 8,300	△ 10,679	
進捗率(%) ^{※2}			2.9%	18.6%	28.9%	30.7%	51.2%	65.9%	
取組の結果	実施計画では削減目標を△14,239 tとしていたが、削減実績は、△10,679 tであった。進捗率は実績が65.9%で、目標とする87.8%には21.9%届いていない。 前年度との比較で家庭系(△1,735 t) 事業系(△644 t) となり、事業系の減少が鈍い結果となっている。令和5、6年度は家庭系の燃やせるごみの減量が進んだことにより、燃やせるごみ総量は着実に減少してきているが、依然として目標値とは開きがあるため、アクションプログラム等に基づく確実な減量の取組が必要である。								

【グラフ-2 燃やせるごみの排出量及び削減量】



④ 燃やせるごみ1人1日当たりの排出量

単位：g

項目	年度	H30 (基準年)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標年)
計画排出量		902	852	832	811	790	768	745	722
削減目標 ^{※1}			△ 50	△ 70	△ 91	△ 112	△ 134	△ 157	△ 180
進捗率(%) ^{※2}		0.0%	27.8%	38.9%	50.6%	62.2%	74.4%	87.2%	100.0%
実績		902	903	884	877	886	848	825	
削減実績 ^{※1}			1	△ 18	△ 25	△ 16	△ 54	△ 77	
進捗率(%) ^{※2}		0.0%	△ 0.6%	10.0%	13.9%	8.9%	30.0%	42.8%	
取組の結果	実施計画では削減目標を△157 gとしていたが、削減実績は、△77 gであった。進捗率は実績が42.8%で、目標とする87.2%には44.4%届いていない。								

※1 削減量；平成30年度（基準年）と計画及び実績の差

※2 進捗率；令和7年度の計画削減量を「100」とした場合の当該年度削減の計画及び実績の割合

⑤ リサイクル率

単位：％

年度 項目	H30 (基準年)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 (目標年)
計画率①	13.9%	17.6%	18.1%	18.7%	19.3%	19.9%	20.6%	21.3%
実績②	13.9%	12.8%	12.7%	13.9%	13.1%	13.8%	13.8%	
②－①		△ 4.8%	△ 5.4%	△ 4.8%	△ 6.2%	△ 6.1%	△ 6.8%	
取組の結果	リサイクル率は平成30年度の基準年以降、年々増減が見られているが、令和6年度においては結果的に平成30年度と同程度の実績にとどまっていることから、より一層の取組の強化が求められる。計画率20.6%のところ、実績は13.8%であり、計画率に6.8%届いていない。							

※ 令和6年度；環境センターへの搬入実績及び構成市町村からの調査回答を基に算出。

【ごみ質検査結果：湿ベースの推計値】

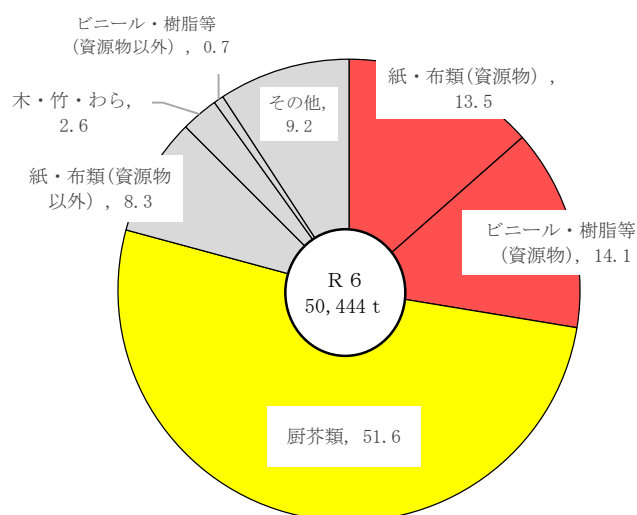
① ごみの組成

単位：％

種 別	H30 (基準年)	R 5	R 6
紙・布類	37.2	39.3	21.8
内訳			
段ボール		4.2	0.7
新聞・チラシ		3.1	0.7
雑誌・包装紙 コピー紙		10.1	6.0
空き箱・飲料容器		8.4	5.6
ティッシュ・ キッチンペーパー		5.4	4.9
紙おむつ		1.7	1.1
その他の紙・布類		4.0	2.3
衣類		2.4	0.5
ビニール・樹脂等	16.9	14.8	14.8
内訳			
容器包装類		12.3	14.1
ゴム皮類		0.5	0.3
その他のプラ		2.0	0.4
木・竹・わら	5.6	5.7	2.6
厨芥類	33.8	28.6	51.6
その他	6.5	11.6	9.2

【グラフー3 令和6年度 ごみの組成】

単位：％



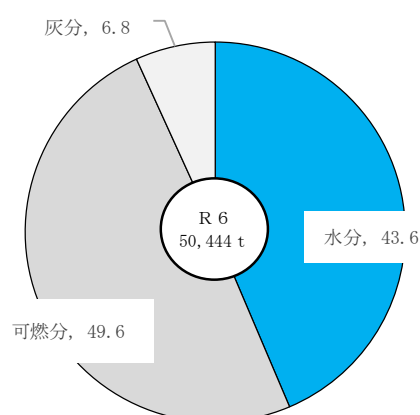
② 3成分

単位：％

種 別	H30 (基準年)	R 5	R 6
水 分	48.3	40.3	43.6
可燃分	47.0	52.9	49.6
灰 分	4.7	6.8	6.8

【グラフー4 令和6年度 ごみの3成分】

単位：％



令和6年度 ごみ質検査結果の検証

組合におけるごみ質検査は施設維持管理上の必要性から「乾ベース」で実施しているが、減量対策に活用していく観点を踏まえ、より排出時の組成に近い割合である「湿ベース推計値」を記載した。
(燃やせるごみは家庭系・事業系が混在したもので検査)

ごみ質検査の結果から、再生可能な資源物の混入が全体の27.6%（※約13,900 t）見られ、内訳は紙・布類で13.5%（段ボール、新聞紙ほか）、ビニール類が14.1%（容器包装類）であった。

ごみの組成では、紙・布類の排出割合が約22%、厨芥類が約52%を占める。
3成分では、水分がわずかに増加したが、水切りの取組は継続して必要となる。

ごみ質検査の結果からも、燃やせるごみのうち家庭系・事業系を問わず、特に「紙ごみ」「厨芥類（生ごみ）」「容器包装プラスチック」に減量の余地があることが見て取れる。燃やせるごみの減量のためには、今後も確実なリサイクル率の向上や「キエーロ」等による生ごみの消滅化、ごみ排出時の水切り等を行っていく必要がある。

※ 再生可能な資源物の混入量13,900 tは、令和6年度の燃やせるごみの排出量（50,444 t）に、ごみ質検査の割合（13.5+14.1=27.6%）を乗じて算出（100 t未満切り捨て）

※ 生ごみの水切りの効果

一般的に生ごみの約80%は水分で、水切りをすることにより、重量の約8～10%を減らすことが出来るといわれています。令和6年度で、約2,082 tのごみの削減が見込まれます。
2,082 t = 50,444 t × 51.6%（厨芥類の割合）× 8.0%（削減割合）

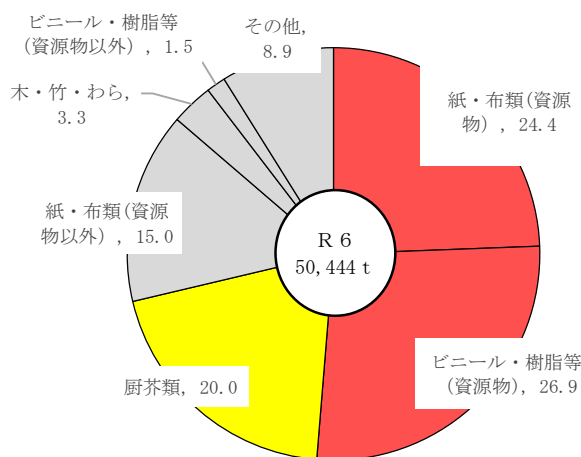
参 考

【ごみ質検査結果：乾ベース】

単位：％

種別	H30 (基準年)	R 5	R 6
紙・布類	53.3	55.0	39.4
内訳			
段ボール		5.9	1.3
新聞・ちらし		4.3	1.3
雑誌・包装紙 コピー紙		14.2	10.8
空き箱・飲料容器		11.7	10.1
ティッシュ・ キッチンペーパー		7.5	8.9
紙おむつ		2.4	1.9
その他の紙・布類		5.6	4.2
衣類		3.4	0.9
ビニール・樹脂等	25.7	22.1	28.4
内訳			
容器包装類		18.3	26.9
ゴム皮類		0.8	0.7
その他のプラ		3.0	0.8
木・竹・わら	5.6	5.6	3.3
厨芥類	10.4	8.6	20.0
その他	5.0	8.7	8.9

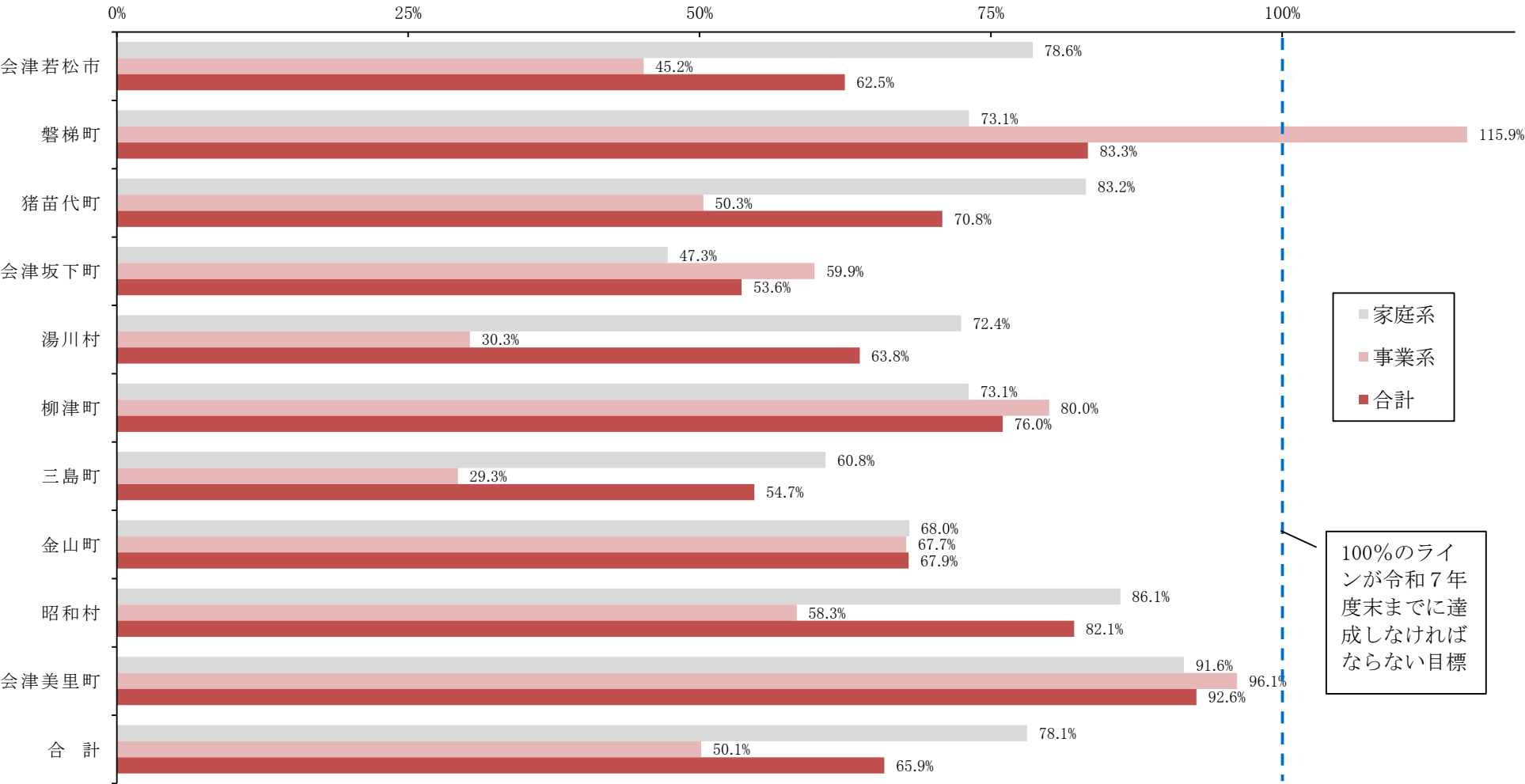
【グラフー5 令和6年度 ごみの組成】 単位：％



燃やせるごみ

市町村別：減量実施計画の目標値と進捗率（令和6年度末現在）

燃やせるごみ：市町村別進捗率



100%のラインが令和7年度末までに達成しなければならない目標

○令和6年度末の進捗率: 令和7年度末の目標値を「100」とした場合の進捗率 (令和7年度の減量目標に対してどのぐらいまで減量が進んでいるかの指標)

➡ (H30年度基準－R6年度実績) ÷ (H30年度基準－R7年度末目標)

○家庭系と事業系を合計した進捗率が100%に近いほど目標値に向けた減量が進んでいる状況 (100%を超えている場合は目標以上に減量が進んでいる状況)

【単位:t】

家庭系	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	計
H30年度基準	26,634	756	2,979	2,747	644	592	370	433	294	4,635	40,084
R6年度実績	22,001	609	2,332	2,513	552	478	266	348	232	3,636	32,967
(R6までの減量実績)	4,633	147	647	234	92	114	104	85	62	999	7,117
R7年度末目標	20,739	555	2,201	2,252	517	436	199	308	222	3,544	30,973
(H30→R7目標までの減量必要量)	5,895	201	778	495	127	156	171	125	72	1,091	9,111
令和6年度末の進捗率	78.6%	73.1%	83.2%	47.3%	72.4%	73.1%	60.8%	68.0%	86.1%	91.6%	78.1%

【単位:t】

事業系	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	計
H30年度基準	14,747	475	2,028	1,472	214	358	99	85	56	1,505	21,039
R6年度実績	12,259	402	1,793	1,172	204	266	87	64	49	1,181	17,477
(R6までの減量実績)	2,488	73	235	300	10	92	12	21	7	324	3,562
R7年度末目標	9,244	412	1,561	971	181	243	58	54	44	1,168	13,936
(H30→R7目標までの減量必要量)	5,503	63	467	501	33	115	41	31	12	337	7,103
令和6年度末の進捗率	45.2%	115.9%	50.3%	59.9%	30.3%	80.0%	29.3%	67.7%	58.3%	96.1%	50.1%

【単位:t】

家庭系・事業系の合計	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	計
H30年度基準	41,381	1,231	5,007	4,219	858	950	469	518	350	6,140	61,123
R6年度実績	34,260	1,011	4,125	3,685	756	744	353	412	281	4,817	50,444
(R6までの減量実績)	7,121	220	882	534	102	206	116	106	69	1,323	10,679
R7年度末目標	29,983	967	3,762	3,223	698	679	257	362	266	4,712	44,909
(H30→R7目標までの減量必要量)	11,398	264	1,245	996	160	271	212	156	84	1,428	16,214
令和6年度末の進捗率	62.5%	83.3%	70.8%	53.6%	63.8%	76.0%	54.7%	67.9%	82.1%	92.6%	65.9%

燃やせるごみ

市町村別：令和6年度末の超過率と目標達成に必要な減量率

単位：t											
項 目	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	計
R6年度実績 ①	34,260	1,011	4,125	3,685	756	744	353	412	281	4,817	50,444
R7年度末目標 ②	29,983	967	3,762	3,223	698	679	257	362	266	4,712	44,909
令和6年度末の超過率 (①÷②-1.00)	14.3%	4.6%	9.6%	14.3%	8.3%	9.6%	37.4%	13.8%	5.6%	2.2%	12.3%
R7目標とR6実績の差 ③	4,277	44	363	462	58	65	96	50	15	105	5,535
必要減量率 (③÷①×100)	12.5%	4.4%	8.8%	12.5%	7.7%	8.7%	27.2%	12.1%	5.3%	2.2%	11.0%

○令和6年度末の超過率：令和7年度末の目標値に対して令和6年度実績がどれだけ超過しているかの指標

○必要減量率：令和6年度実績からどれだけ減量すれば令和7年度末の目標に達するかの指標